

## 一 般 質 問 通 告 表

平成 2 5 年第 3 回 始 良 市 議 会 定 例 会   《 9 月 17 日 ( 火 )   午 前 9 時 開 会 》

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 の 相 手
1. 里山 和子	1. 高齢者福祉について	<p>(1) 2012 年度厚生労働省の調査によると認知症高齢者が 16%462 万人、予備軍も 400 万人で、65 才以上の 4 人に 1 人が認知症とその予備軍とされている。</p> <p>始良市の高齢者人口、高齢化率、また介護保険認定者数と認定率、介護保険認定者のうち認知症の割合はどうなっているか年代別に示せ。</p> <p>(2) 熊本県玉名市では認知症支援事業に力を入れて取り組んでいるが、独居老人でも軽い認知症であれば自宅で安心して暮らすことができるという話を聞いた。始良市でも玉名市の支援事業を検討し、取り入れる考えはないか。</p> <p>(3) 特別養護老人ホームの待機者は現在何人になるのか。市内に何か所の特老がどの地区にあり、これから建設するとすればどの地域が適当か。</p> <p>県との協議ではいつ頃になるのか見通しについて示せ。</p> <p>グループホームや介護施設等市民の要求に充分答えられているか。</p>	市長
	2. 防災対策について	<p>(1) 始良市地域防災計画が発表されたが、異常気象による豪雨や台風等のため、浸水する地域や崩壊土砂流出、地すべり、高潮、津波等の危険地域が指定されているが、防災対策は進んでいるのか。</p> <p>この 3 年間で予算化され、解決した地域は何か所あるのか。</p> <p>(2) 南海トラフ地震や桜島の大爆発、福山沖海底噴火等の影響をどのように</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 小中学校の給食問題について</p> <p>4. 小中学校普通教室にクーラーの設置を！</p>	<p>分析しているか。          大量の降灰や地震、津波等で住民はパニックになると想定されるが、地域ごとに防災計画の内容を丁寧に説明し、地域ごとの訓練も計画し、実行すべきと考えるがどうか。</p> <p>建昌小、松原なぎさ小学校を除く始良地区の小中学校の学校給食を自校方式のまま維持していくのか、それとも学校給食センター化にするのかを検討する検討委員会はこれまで何回開かれ、それぞれどういうことが検討されてきたのかを問う。          これからあと何回開かれる予定か。最終的な結論が出されるのはいつ頃になる予定か問う。</p> <p>地球温暖化による異常気象や桜島の噴火の活性化による降灰日数や降灰量の多さ等考えると6月、7月から9月頃までの子どもたちの教室での学習環境は熱中症も心配される状況にある。クーラー設置には一定の補助も見込まれることから、市内の降灰のひどい地域から順次普通教室にクーラー設置を検討すべきと考えるがどうか。</p>	<p>教育委員長</p> <p>教育委員長</p>
2. 堀 広子	1. 学童保育の基準づくりについて	<p>昨年「子ども・子育て関連3法」が成立した。          「子ども・子育て支援法」制定と「児童福祉法」の改定は、学童保育に大きな変化と影響を与える。          ①「子ども・子育て会議」の構成員はどのようなになっているか。          ②「事業計画」のニーズ調査（パブリックコメント等の取り組み）はどのように</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 子ども医療費、ひとり親家庭医療費、重度心身障害者医療費の助成について</p> <p>3. 浄化槽の法定検査について</p>	<p>行うのか。</p> <p>③これまでの運営補助金は目的税であったが、今後、財政措置が一括交付金となる。学童保育へ確実に予算措置がなされるのか。</p> <p>④職員の処遇改善・人材確保について、学童保育現場当事者の声をどのように反映していくのか。</p> <p>3つの医療費（子ども医療、ひとり親家庭医療、重度心身障害者医療）の助成を行っているが、いずれも償還払い方式なので、お金がなければ病院にかかれない現状である。</p> <p>いつでも安心して必要な医療が受けられるよう、窓口負担のない完全無料化を求めるがどうか。</p> <p>浄化槽使用者は保守点検・清掃と法定検査を受けることになっている。</p> <p>市民から「集合処理施設の使用料金に比べ、浄化槽利用者が支払う維持管理料金が低い」「年2回の保守点検と年1回の清掃をしているのに、なぜ法定検査を受けないといけないのか」「毎年検査をする必要があるのか」「6000円の法定検査料は高すぎる」などの声が出ている。</p> <p>(1) 料金格差の実情をどのようにとらえ、今後、市民の声にどう応えていく考えか問う。</p> <p>(2) 全国には維持管理費用に対して補助を実施している自治体もある。始良市でも検討できないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
3. 谷口 義文	1. 高齢者福祉について	<p>福祉とは幸福、しあわせ、とある。老人福祉法の目的第一条には、この法律は、老人の福祉に関する原理を明らかにするとともに、老人に対し、その心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じ、もって老人の福祉を図ることを目的とするとある。</p> <p>本市高齢者世帯の中でも、一人暮らし世帯、夫婦だけの世帯も少なくない。子供が全くいない人、いても遠方にいるとか、各々の家庭の事情が異なる。高齢になると、体の衰えが出初めて不安になり淋しい思いをしている人も多い。老後の過ごし方は人によって違う。元気で回りと交流する人はまだしも、そうでない人は家に籠り、日々の生活の中で、誰かの助け、声かけを待っている。医療、介護の力も含めこのような高齢者を把握し、声をかけ手を差し延べ見守っていくことが真の高齢者福祉であると考えている。仲々難しいことではあるが、住民に身近な自治会長、民生委員の力を今以上借りて市民全体で支え合い安全で安心な生活が出来ることを望むがどう考えるか。</p>	市長
	2. 道路改良について	<p>(1) 8月3日加音ホールで行なわれた県議会との意見交換会(そば県)において、県議会の方々に道路改良3件(県道松原帖佐停車場車線～帖佐駅前通り、主要地方道川内加治木線～米山交差点、県道十三谷重富線～森山交差点)を強く要請した。一般質問でも幾度となく取り上げられているが、いまだ進展が見られない。現況はどうなっているのか、県への働きかけを強く要望するべきではないか。</p> <p>(2) 旧こうか跡地は民間の開発によ</p>	市長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>3. 宿泊施設について</p>	<p>り宅地としてほぼ住宅が出来上がった。昨年宅地内の道路も市道認定され、市道南加祢ヶ原線として利用も多くなっている。菅原線寄りの交差点が開通すると今以上に便利になり、帖佐駅前通りの交通も緩和されると考える。</p> <p>今後の計画を示せ。</p> <p>(3) 菅原東線について</p> <p>JA あいら前の交差点、ホテル側から来ると右左折の道路標示はあるが、止まれの標識がなく、車が急に飛び出し非常に危険である。</p> <p>また、イオン入口からさくら通りに差しかかる交差点、左側にマンションの駐車場があり、狭く、見通しが悪く右左折が非常に困難である。</p> <p>以上 2 か所についての改良を促進する考えはないか。</p> <p>(1) 国道 10 号線バイパス沿いの脇元地内にホテルが建設されるとのことだが、承知しているか。今後の計画と規模を示せ。</p> <p>また、旅館・ホテル施設誘致促進条例との関連はどうなっているのか。</p> <p>(2) 旧サンピアあいらについて、持主である玉昌会の理事長が先般、松原上自治会長と面談され今後について夢を語られたとのことだが、承知しているか。</p> <p>また、玉昌会（理事長）とは交渉しているのか。今後の進め方について問う。</p>	<p>市長</p>